

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 101

2016年5月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、農学部の平井 浩文 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「産学連携学会第14回大会（浜松大会）」を開催します
2. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第41回研究会」のご案内
3. 「第9回研究・開発成果発表会」のご案内
4. 「第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」に出展します

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。
メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「産学連携学会第14回大会（浜松大会）」を開催します

産学連携学会（浜松大会）を下記の要領で開催いたします。
たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

【開催の趣旨・目的】

産学連携学会は、産学連携に従事する人、産学連携を必要とする人、産学連携を支える人、産学連携に関心のある人すべてを対象とし、産学連携学の確立及び産学連携の発展をとおして、学術や技術の促進と豊かで個性と活性に富んだ社会構築に寄与することを目的として活動しています。

産学連携に関する諸課題について、産学官の学識経験者や実務家などが広く交流し、相互に啓発しあう場として、下記により第14回年次大会を開催します。学会員はもとより産学連携に関心のある方々の多くの参加をお願い申し上げます。

【日 時】

2016年6月16日(木)～17日(金)

【会場と概要】

(1)会場

- アクトシティ浜松
研修交流センター・コンgresセンター
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL 053-451-1111
URL <http://www.actcity.jp/>

- 情報交換会（16日（木）18：30～20：00）
オークラアクトシティホテル浜松
〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2

TEL 053-459-0111

URL <http://www.act-okura.co.jp/>

(2) プログラム構成

- 1) 特別講演
- 2) シンポジウム
- 3) 一般講演
- 4) オーガナイズドセッション
- 5) ポスターセッション

(3) 大会参加費 【4/7(木)～当日申込】

正会員/個人法人	6,000円
正会員/学生	3,000円
非会員	9,000円

(4) 情報交換会参加費 【4/7(木)～当日申込】

正会員/個人法人	6,000円
正会員/学生	3,500円
非会員	6,000円

産学連携学会ホームページから「大会情報」にお進みいただき、「WEBからの申込」フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。お申込ができない場合は、大会事務局までご連絡ください。

産学連携学会ホームページ

産学連携学会 第14回大会 開催案内

http://www.j-sip.org/annual_meeting/14th_2016/14th_index.html

【組織】

大会事務局

国立大学法人静岡大学

産学連携学会第14回大会実行委員会

大会長 伊東 幸宏 (静岡大学長)

副大会長 今野 弘之 (浜松医科大学長)

実行委員長 木村 雅和 (静岡大学イノベーション社会連携推進機構長)

【お問い合わせ】

産学連携学会第14回大会実行委員会事務局

E-mail : [sangaku2016\[at\]cj.sizuoka.ac.jp](mailto:sangaku2016@cj.sizuoka.ac.jp)

Tel : 053-478-1702 Fax : 053-478-1711

2. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第41回研究会」のご案内

【日時】 2016年5月27日(金) 13:25～17:00

【場所】 静岡市産学交流センター B-nest 6F プレゼンテーションルーム
静岡市葵区御幸町3-21 TEL 054-275-1655

【主催】 静岡大学食品・生物産業創出拠点

【後援】 公益財団法人 静岡県産業振興財団

【講演】 主題：食品・生物産業の付加価値向上とバリューチェーンの構築

1. 13:30～14:30

日本農学賞・読売農学賞 受賞講演
「キノコの産生する2次代謝産物に関する天然物化学的研究」
静岡大学グリーン科学技術研究所 教授 河岸 洋和 氏

2. 14:30~15:30

「介護・治療食市場の動向について」

(株) マルハチ村松 開発本部 開発研究部 部長 橋詰 昌幸 氏

3. 15:45~16:45

「キノコ系素材の機能性研究と付加価値について」

(株) サン・メディカ 営業部長 山本 健 氏

【懇親会】 17:10~18:40

会場 ホテルシティオ静岡 TEL 054-253-1105
静岡市葵区伝馬町1-2 (研究会会場から徒歩約1分)

【研究会参加費】

*会員・後援団体会員及び学生…無料

*会員外…1,000円(当日、受付にてお願いします。)
但し、懇親会費は、別途徴収させていただきます。

*会員(学内・学外共) 1名2,000円

*会員外 1名5,000円

【聴講申込み及びお問合せ先】

静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6

TEL : 054-238-4631

FAX : 054-238-3018

Email : oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

3. 「第9回研究・開発成果発表会」のご案内

地域産業の振興と活性化に向けた県西部地域における幅広いネットワークの形成と活発な交流・連携による研究開発及び製品化・実用化の促進支援を目的に、静岡県と県西部地域の大学及び産業支援機関との共催・後援による研究・開発成果発表会を開催します。

内容としては、浜松工業技術支援センターと大学の研究開発成果の発表、ポスター展示・ポスターセッション及び産業支援機関のポスター展示、また特別講演も予定しております。

【日時】2016年7月1日(金)

13:00~17:00(受付 12:15~)

【場所】静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

大・小研修室、視聴覚室、ロビー

【内容】

(1) 研究・開発成果発表 14:20 ~ 16:30 (17~19テーマ)
レーザー・光、電磁波、半熔融成形、材料加工・評価、繊維複合材料、等
(センターの技術分野)
各大学における最近の研究成果(4大学から7~8名を予定)

(2) 特別講演 13:05 ~ 14:10

①【Additive Manufacturing Machine (AMM)とAM-CAMの開発について】
~同時5軸積層造形+同時5軸機械加工~(戦略的基盤技術高度化支援事業)

講師: 静岡文化芸術大学大学院 デザイン研究科 教授 望月 達也

氏

②【浜松地域のロボット産業創生に向けて】

～ロボットにかかわるオープンイノベーションとビジネス創生～

講師：オフィス・エムアンドケイ 代表

大木 誠

氏

- (3) ポスター展示(13:00～)、ポスターセッション 16:30～17:00
研究・開発成果ポスター及び共催・後援各機関における企業支援策の出展等

【主催】浜松工業技術支援センター、浜松センター協議会

【参加費】 無料

【問合せ・申込先】

〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3

静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
技術支援担当

TEL : 053-428-4152、FAX : 053-428-4160

E-mail : hamamatsu[at]iri.pref.shizuoka.jp

4. 「第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」に出展します

静岡大学との産学連携をご検討の皆さま、ぜひこの機会に静大ブースにお立ち寄りください。コーディネーターがサポートいたします。
静大発ベンチャー企業の紹介もします。

【日時】2016年7月20日(水) 10:00～17:00
7月21日(木) 10:00～16:00

【会場】アクトシティ浜松 音楽工房ホール
(浜松市中区中央3-12-1)

【静岡大学の出展内容】

静岡大学の産学連携活動と大学発ベンチャー企業の紹介

【詳細】<http://www.hamamatsu-bmf.jp/>

【静岡大学の問合せ先】

イノベーション社会連携推進機構

TEL : 053-478-1713

E-mail : sangakucd[at]cjr.shizuoka.ac.jp

《 みんなのコラム -95- 》

記：農学部 応用生命科学科 教授 平井 浩文

私が学生時代、大学で研究を始めた1990年代当初、製紙工場の漂白廃液よりダイオキシンが検出され、塩素漂白に代わるクラフトパルプ漂白法の開発が急務な状況であった。

そこで私が手がけた研究が、白色腐朽菌(キノコの仲間)を用いたクラフトパルプ(KP)の生物学的漂白であった。自然界より約1200個の腐朽材を採取し、そこから白色腐朽菌を約100株分離し、それぞれのリグニン分解能を評価するとともに、KPの漂白に優れた菌の選抜を行った。

運良く、私はリグニン分解能及びKP漂白能に優れた株の選抜に成功し、その後、

本菌によるKP漂白機構を生化学的に解明した。

時が経ち、現在も白色腐朽菌を用いた研究を遂行している。一つは白色腐朽菌による難分解性環境汚染物質の分解に関する研究、もう一つが白色腐朽菌を用いた木質バイオリファイナリーに関する研究である。

白色腐朽菌は自然界において木材の腐朽に関与しており、特にリグニンといった難分解性の木材主要成分を高度に分解できる唯一の微生物である。このリグニン分解能を利用して上記の生物学的漂白の研究を展開した訳であるが、近年、白色腐朽菌の持つ特殊な能力が着目されている。

その一つが難分解性環境汚染物質分解能であり、蜂群崩壊症候群の原因物質として疑われているネオニコチノイド殺虫剤の分解・無毒化が可能であることを報告した。

また最近では白色腐朽菌が各種発酵能（エタノール、キシリトール等）を有していることが明らかとなり、木質バイオマスを原料としたバイオリファイナリーの研究も展開している。

今後、「環境に優しい」を合い言葉に、白色腐朽菌の能力を十二分に活かした技術を開発していきたいと考えておりますので、今後も皆様のより一層のご協力ご支援をお願いしたい。

<< 編集後記 >>

5月11日（水）～13日（金）に東京ビックサイトでライフサイエンスワールド2016 アカデミックフォーラムが開催され、静岡大学も出展をいたしました。3日間を通して多くの方にご来場していただき、大盛況のうちに終わりました。

静岡大学からは、以下の先生方がポスターを展示されました。

田代先生：微生物が分泌するベシクルを用いた選択的微生物制御の開発
徳元先生：活性型・ヒト型プロゲステロン膜受容体（mPR）の大量合成技術を確立
茶山先生：新生児の成長及び免疫機能に対する母乳中ケモカインの効果

約130名の方が静岡大学のブースにお越しになり、その中でも興味を持ってくださった企業関係者等の方々が、先生や学生と活発な話し合いをされておられました。

ライフサイエンスワールドは来年も開催されますので、バイオ分野にご興味をお持ちの方は是非ご来場ください。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里
発行責任者：木村雅和

